

入試まで15か月の高校2年生、中学2年生、  
私立中学校を受験する小学5年生は、本格的な勉強のスタートを

— 自律的な勉強で、希望校合格を果たそう —

開倫塾

塾長 林 明夫

( 宇都宮大学大学院  
工学研究科客員教授 )

**Q** : 高校2年生、中学2年生、私立中学校を受験する小学5年生に希望することは何ですか。

**A** : (林明夫 : 以下省略) 入学試験まで、15 か月となりました。15 か月後には、泣いても笑っても入学試験を受験するのだということを十分「自覚」すること。その上で、本格的な受験勉強を一日も早くスタートすることを希望します。

**Q** : 随分(ずいぶん)気が早いんですね。15か月も先のことなど実感がわきません。

**A** : 確かにそうでしょうね。では、あと少しでやってくる、今年のクリスマスやお正月のことは想像できますか。おそらく目に浮かぶと思います。来年のクリスマスやお正月はどうでしょうか。想像できる方は多いと思われます。皆様が受験する入試は、その直後にやってくるのです。あと何か月と何日で入学試験を受験するのかを、是非早めに「自覚」してくださいね。勉強にとって一番大切なのは、「本人の自覚」です。皆様が素直な心になって15か月後には入試があるという「現実を自覚」することが、合格の第一歩です。

**Q** : 15か月後には入試があるということはよくわかりました。次にした方がよいことは何ですか。

**A** : (1) 何のためにその学校に入学するのかという目的を、はっきりさせることです。目的があやふやでは、勉強の目的もはっきりしなくなります。入試の倍率が1倍ちょっとで受験者のほぼ全員が合格できそうな高校でも、何のためにその学校に入学するのかという目的がはっきりしていないと、勉強もあやふやになりますから、不合格になる人が出ます。

(2) たとえ小学5年生であっても、私立中学校に進学するからには、何のために私立中学校に進学するのか、その目的をはっきりさせることです。私立中学校に進学する人の多くは、高校や大学に進学することが目的とは思いますが、併せて、何のために高校や大学に進学するのも是非真剣に考えてください。

そうすると、自分はどのような生き方をしたいのかという大きな問題を考えざるを得なくなります。「私は、このような生き方をしたい。だから、上の学校に行き勉強するのだ」と自分の力で考えてみてください。できれば、「自分のためにも生きるが、人のため、世の中のためにも生きるのだ、それが自分のためでもある」とお考えください。

そのためには、「自分の人生とは何か」、「世の中とは何か」をよく勉強する必要があります。

「自分の人生を考える」、「世の中とは何かを考える」ことは、大切な勉強です。学校の先生以外のいろいろな人のお話を素直な心で聞くこと、本や新聞を毎日じっくり読んで考えることは、自分の生き方や世の中について考える上でとても役に立ちます。

(3)ある程度自分の考えがまとまったら、たとえ一行でもよいので、それを文章にまとめて日記やノートに書いてみてください。そして、自分の力で考えたその人生の目的を毎日一度はじっくり読み直し、「では、今日からは、明日からは、どうしたらよいのだろう」と考え、勉強に励んでください。これから 15 か月間、このような態度で勉強に励めば必ず希望校に合格します。

(4)私立中学校を目指す小学5年生に負けないよう、中学2年生、高校2年生、何のために生きるのか「自分の人生の目的」を考えてから、何のためにその学校に入学するのか「進学目的」をはっきりさせて、15 か月間をお過ごしください。

(5)今から行えば、どんなに難しい学校にも合格します。ただ、問題は「本人の自覚」です。入るのがどんなに易しいと思われる学校でも、学校側は入学者を選抜しますので、本人の「自覚」が少ないほど不合格の確率は高まります。

**Q：これから15か月間の受験生活で、大切なことは何ですか。**

A：「自律的」に生活するということです。「自分自身を律する、つまり自分を自分でコントロールする」ことが、「自律」です。

そのためには、「高い志(こころざし)」が不可欠です。自分は何のためにその学校に進学するのか。その学校に進学し、卒業したあとにどのような人生を送ることが、自分自身を生かすことになるのか。「人生の目的」や「進学目的」を明確化すること、はっきりさせることが、「高い志(こころざし)」を持つことにつながり、自律的な生活の基礎となります。

どうか、世の中の動きを考えた上で、大きな展望に立って人生設計をし、その一環として 15 か月間の受験勉強を実行してください。

まずは得意分野と不得意分野を素直な心で十分知り、得意分野は、誰に遠慮することなくどんどん伸ばすこと。不得意分野は、恥ずかしいなどと思うことなく、よく「理解」できていないところまで遡(さかのぼ)って、少しずつゆっくと時間をかけて再学習すること。

「自覚」を持った勉強をお勧めします。がんばってくださいね。

お願い

この勉強方法、心構えは、数か月後に受験を控えた高校3年生、中学3年生、私立中学校受験の小学6年生にもそっくり活用できます。十分お読みください。

2007年9月19日記